

令和8年度

看護学研究科（博士前期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和7年8月30日

高知県立大学大学院

小論文

問 看護の現場では様々なテクノロジーが導入されています。テクノロジーの進展が看護に何をもたらすかを述べ、テクノロジーを適切に活用するための方略についてあなたの考えを論述してください。

(100点)

<出題の意図>

看護実践においてテクノロジーを適切に活用することは重要である。この設問により、テクノロジーの適切な活用に関する専門的知識、看護に対する洞察力、論理性と抽象的思考力をみる。

<解答のポイント>

テクノロジーの進展が看護にもたらすこととして、業務の効率化、医療の質と安全の向上、人間性の喪失、倫理的問題などについて述べ、テクノロジーを適切に活用するための方略について自らの考えを論述していること。

英語 高度実践看護師コース・研究コース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(100点)

出典： Debra Jackson: Missed nursing care, low value activities and cultures of busyness, *Journal of Advanced Nursing*, 79(12), 2023, pp.4428-4430 より抜粋

<出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 Missed nursing careについて、筆者はどのように述べていますか。要約してください。

(50点)

<解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・必要とされる患者ケアの省略（一部または全部）または遅延と定義される
- ・患者の安全性と結びつけ、エラーと位置づけている
- ・私たちが思っている以上に頻回に起こっている
- ・個人衛生、スキンケア、口腔ケア、退院準備、食事や水分補給の介助、投薬や輸液、手指衛生など、あらゆるケアにおいて生じているなど

問2 Missed nursing careは臨床にどのような影響を与えると考えますか。英文の内容も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(50点)

<解答のポイント>

提示された英文も参考にして、自らの考えを述べていること。

英語 実践リーダーコース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50点)

出典： Anne J. Davis, Marsha D. Fowler, Mila Ann Aroskar (2010). Chapter 1 Introduction to Ethics and Ethical Dilemmas: Ethical dilemmas & nursing practice, 5th ed., Pearson, pp.1-13 より抜粋

<出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 下線部を日本語に訳してください。

(20点)

<解答のポイント>

文章を正しく捉えて、日本語に訳していること。

問2 看護者の倫理綱領を用いて、自身の看護実践や他者の看護実践を評価する必要性について、あなたの考えを述べてください。

(30点)

<解答のポイント>

設問に対して、自らの考えを述べていること。

専門科目 小児看護学

問1 検査や処置が繰り返し必要である子どもの看護について、以下の1)、2)について答えてください。

(130点)

- 1) 子どもの発達段階を1つ設定して、検査や処置が繰り返し必要である子どもの体験について、概念を1つとりあげて説明してください。
- 2) 1) をふまえて、検査や処置が繰り返し必要である子どもへの看護援助を2つとりあげて、根拠とともに述べてください。

<出題の意図>

検査や処置が繰り返し必要である子どもの看護は、小児看護の重要な課題である。この設問により、このような状況にある子どもへの看護に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

問1-1) 検査や処置が繰り返し必要である子どもの体験について、概念（痛み、覚悟など）を用いて説明していること。

問1-2) 上記の1) をふまえて、検査や処置が繰り返し必要である子どもへの看護援助として、子どものペースを尊重しながら検査や処置に向かう子どもの力を引き出すこと、子どもが納得できる説明を行って子ども自身に取り組めたと思える場を整えること、子どもとともに頑張りを振り返って次の検査や処置に活かすことなどについて、2つとりあげて、根拠とともに述べていること。

問2 次の事例を読み、あなたが重要であると考える子どもの家族への看護援助を1つとりあげて、根拠とともに述べてください。

(70点)

Aさん(7か月、女兒)の家族は、父親、母親、兄(7歳)の4人家族です。Aさんは出生前診断により先天性心疾患があると指摘され、生まれた時から治療のために入院しています。生後1か月と生後5か月の時に外科的手術を行い、退院を目指していましたが、再び病状が不安定となり点滴による薬物治療を継続しています。2回目の手術まで母親は毎日面会に来て、父親が仕事後に面会に来たときは3人で過ごしていました。しかし、2回目の手術以降は両親の面会が少なくなり、現在は母親が2週間に1回ほど、父親はほとんど来なくなりました。そこで、看護師は面会に来た母親に、Aさんが元気になるためにももう少し面会に来ることはできないか尋ねてみましたが、母親は「兄の情緒が不安定なこともあって、今以上に面会時間や回数を増やすことは難しく、夫は仕事が忙しくなりほとんど相談できなくて、Aは元気になる日が来るのでしょうか。」と表情硬く話しました。

<出題の意図>

子どもの入院生活が長期化していることに伴う家族生活への影響を理解し、家族を小児看護の対象として位置づけた看護を実践することは重要である。この設問により、このような状況にある家族への看護に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

子どもの家族への看護援助として、母親の思いを傾聴し理解すること、両親がそろって説明を聞く機会をつくることなどについて、根拠とともに述べていること。

専門科目 精神看護学

問1 アルコール依存症をもつ人の家族について、以下の1)、2)に答えてください。
(100点)

- 1) アルコール依存症をもつ人の家族の体験について、心理的・社会的な概念を1つとりあげて、具体的に説明してください。
- 2) 1)をふまえ、アルコール依存症をもつ人の家族への看護援助について、具体的に述べてください。

<出題の意図>

アルコール依存症をもつ人の家族の体験を理解し、それをふまえ看護援助を行うことは重要である。この設問により、アルコール依存症をもつ人の家族の体験と家族への看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問1-1) アルコール依存症をもつ人の家族の体験について、共依存、自責感などから1つとりあげて、具体的に説明していること。
- 問1-2) 1)をふまえ、アルコール依存症をもつ人の家族への看護援助について、家族教室や家族会への参加をすすめる、アルコール依存症をもつ人との距離のとり方を一緒に考える、家族のセルフケアを支援する、など具体的に述べていること。

問2 次の事例を読み、Aさんへの看護援助を2つとりあげ、根拠とともに具体的に述べてください。

(100点)

会社員のAさん(30代、男性)は、重要な会議を数日後に控えたある日、急に胸の苦しさと動悸を自覚したが、そのときは数分でおさまった。会議直前にも息苦しさと手足のしびれ、吐き気を感じたが、何とかやり過ごすことができた。それからも同様の症状が突然起こることが続き、また起きるのではないかと不安から通勤途中で電車を降りてしまったり、エレベーター内で人が多いと発汗や息苦しさを感じたりするようになった。産業医の勧めで受診し、パニック障害と診断された。

<出題の意図>

パニック障害により日常生活に影響が生じている患者に対して、症状に対処し生活

を整える看護援助を行うことは重要である。この設問により、パニック障害の患者への看護援助に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

Aさんへの看護援助として、症状や原因に対する理解を促す、認知や考え方の癖に働きかける、パニック発作への対処を支援する、などから2つとりあげ、根拠とともに具体的に述べていること。

専門科目・地域保健学

【問1は必答問題です。問2、問3は選択問題です。1つを選択して答えてください。】

問1 専門職間のコラボレーションについて、以下の1)、2)に答えてください。

(120点)

- 1) 専門職間のコラボレーションの意義について説明してください。
- 2) 地域保健もしくは学校保健において、専門職間のコラボレーションを促進する看護専門職の役割について、具体的に述べてください。

<出題の意図>

複雑化、多様化した健康課題に対応するためには、関係する専門職間のコラボレーションが求められている。その中で、看護専門職の果たす役割は重要である。この設問により、専門職間のコラボレーションに関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問1-1) 専門職間のコラボレーションの意義について、多様なニーズに応じた支援の提供、多角的な視点による効果的な問題解決、互いの知識を学び合うことによる専門性の向上などについて説明していること。
- 問1-2) 地域保健もしくは学校保健において、専門職間のコラボレーションを促進する看護専門職の役割として、対象のニーズを専門職間で共有し、最善の支援につなげること、専門職間のコミュニケーションを調整し、情報の不一致や認識のズレを解消することなどについて具体的に述べていること。

問2 健康日本21(第三次)のビジョンでは、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向けて、「誰一人取り残さない健康づくり」が求められています。そのために、どのような取り組みを行うのか、あなたの活動分野から、具体的に述べてください。

(80点)

<出題の意図>

健康日本 21（第三次）のビジョンに基づく効果的な保健活動が重要である。この設問により、効果的な保健活動に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

健康日本 21（第三次）のビジョンに基づく取り組みとして、集団や個人の特性を踏まえた健康づくり、健康に関心が薄い者を含む幅広い世代へのアプローチ、多様な主体による健康づくりなどについて具体的に述べていること。

問3 生活習慣病を予防する上で、学童期からの健康的なライフスタイルの形成が、重要な課題となっています。学童期の子どもが健康的なライフスタイルを形成するために、養護教諭としてどのような支援を行う必要があるかについて、重要な支援を2つとりあげ、根拠とともに述べてください。

(80点)

<出題の意図>

養護教諭として、生活習慣病を予防し、子どもが生涯にわたって健康な生活を送るために学童期からの健康的なライフスタイルの形成を支援していくことが重要である。この設問により、学童期の子どもの健康的なライフスタイルの形成に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

重要な支援として、家庭と連携し食生活の見直しを支援する、健康診断結果を活用し保健教育を実施することで子どもの健康意識の向上を図る、感情表出やストレス対処を促し心のケアの強化を図る、などから2つとりあげ、根拠とともに述べていること。

専門科目 看護管理学

問1 看護職におけるリーダーシップについて、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

1) リーダーシップスタイルを2つあげ、その特徴を説明してください。

2) 上記1)をふまえて、看護職における効果的なリーダーシップについて、あなたの考えを述べてください。

<出題の意図>

看護職におけるリーダーシップについて理解することは、看護管理学において重要である。この設問により、リーダーシップに関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

問1-1) リーダーシップスタイルとして、変革型リーダーシップ、サーバント・リーダーシップ、状況対応型リーダーシップなどから2つあげ、その特徴について説明していること。

問1-2) 上記1)をふまえて、看護職における効果的なリーダーシップについて、目的の明確化やその目的を達成していくためのコミュニケーション、チームの協働、後輩育成などの視点から、自らの考えを述べていること。

問2 わが国の医療保険制度（国民皆保険）における課題を1つとりあげ、課題解決にむけた看護の立場での方略について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

<出題の意図>

わが国の医療保険制度における課題を俯瞰し、解決に向けた視点で捉えることは重要である。この設問により、医療保険制度に関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

わが国の医療保険制度における課題として、急速な高齢化に伴う医療費の増大、慢性疾患・予防医療への対応が不十分、地域差・医療資源の偏在などから1つとりあげ、課題解決にむけた看護の立場での方略について、自らの考えを述べていること。